

# 平成30年度沖縄振興予算(案)

～沖縄の自立的発展、県民の暮らしの向上を目指し、3,010億円を計上～

成長するアジアの玄関口に位置付けられる等の優位性と潜在力を活かし、日本のフロントランナーとして経済再生の牽引役となるよう、引き続き、国家戦略として、沖縄振興策を総合的に積極的に推進していきます。

## 公共事業関係経費等

沖縄の観光や日本とアジアを結ぶ物流の発展、県民の暮らしの向上を支える道路や港湾、空港、農林水産振興のために必要な生産基盤などの社会資本の整備とともに、学校施設の耐震化や災害に強い県土づくりなどを実施するため、国直轄事業及び地方公共団体等への補助事業に係る一四二〇億円を計上しています。

### 道路整備の主要事業

● 南風原バイパス(一般国道329号)  
事業区間..南風原町与那霸

延長..二・八km

車線数..2/4

事業主体..沖縄総合事務局

● 金武バイパス(一般国道329号)  
事業区間..金武町字金武中川  
(金武町字金武浜田)

延長..五・六km  
車線数..2/2



金武バイパス



南風原バイパス

### 港湾整備の主要事業

● 平良港国際クルーズ拠点整備事業  
整備内容..岸壁(-10m)泊地(-10m)、  
臨港道路等

事業主体..沖縄総合事務局

● 石垣港旅客船ターミナル整備事業  
整備内容..岸壁(-10m)泊地(-10m)、  
防波堤等  
事業主体..沖縄総合事務局、石垣市



石垣港(新港地区)旅客船ターミナル

## 那覇空港滑走路増設事業

東アジアの中心に位置する沖縄の優位性・潜在力を生かすために必要な不可欠なインフラづくりであり、「強く自立した沖縄」の実現に向けた起爆剤の役割を担っています。

平成31年度末の供用開始に向けて、所要額三三〇億円を計上しています。



那覇空港新滑走路完成イメージ

## 農業農村整備の主要事業



宮古吐水槽

● 宮古伊良部地区(かんがい排水事業)  
事業期間..平成21(~35年度(予定))  
主な施設..地下ダム新設2ヶ所、貯水池新設1ヶ所、揚水機場新設五五km



石垣島底原ダム



地下ダム止水壁の施工状況



離島航路運行安定化支援事業



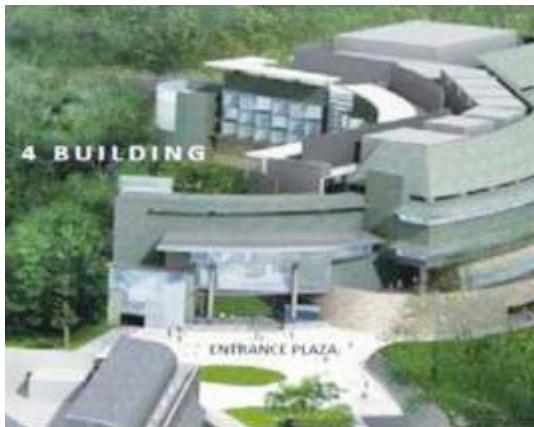
沖縄都市モノレールの延伸

## 沖縄振興交付金事業

沖縄の実情に即してより的確かつ効果的に施策を開展するため、沖縄振興に資する事業を県が自主的な選択に基づいて実施できる一括交付金として、一八八億円(ソフト交付金六〇八億円・ハード交付金五七九億円)を計上しています。

## 沖縄科学技術大学院大学 (OIST)

世界最高水準の教育・研究を行い、イノベーションの国際拠点となるため、新たな研究棟の建設や新規教員の採用などOISTの規模拡充に向けた取組を支援するとともに、OIST等を核としたイノベーション・エコシステム形成の推進を図るため、二〇三億円を計上しています。



第4研究棟(完成イメージ)

## 沖縄離島活性化推進事業

厳しい自然的・社会的条件に置かれている沖縄の離島市町村の先導的な事業を支援するため、二・五億円を計上しています。



ICTを活用した離島における専門人材育成事業

沖縄への企業誘致、国際物流拠点を活用した先進的なものづくり産業等の創出、生産性を向上させる産業人材の育成等を通じた産業イノベーションの創出を図るために、二・五・七億円を計上しています。

## 沖縄産業イノベーション 創出事業



現在の琉球大学医学部及び同附属病院

## 沖縄健康医療拠点整備経費

西普天間住宅地区跡地において、国際性・離島の特性を踏まえた、沖縄健康医療拠点の整備を推進するため、琉球大学医学部及び同附属病院の主要な建物を建設するために必要な実施設計費として、三・一億円を計上しています。

## 駐留軍用地跡地利用の推進

平成二十七年三月末に返還された西普天間住宅地区跡地を始め、市町村の跡地利用の取組を支援するなど、駐留軍用地の跡地利用の推進を図るために、十二・六億円を計上しています。

1. 子供の貧困対策支援員の配置
2. 子供の居場所の運営支援

### 主な事業内容

主として観光や情報通信分野の専門学校に進学した場合に経済的支援を行う沖縄独自の給付型奨学金を創設するなど、沖縄における人材育成を推進するため、二・一億円を計上しています。

## 沖縄の人材育成事業



子供達に対する取組の様子

## 沖縄子供の貧困緊急対策事業

沖縄の将来を担う子供達の深刻な貧困に関する状況に緊急に対応するため、沖縄の実情を踏まえた子供の貧困対策事業を、モデル的・集中的に実施するため、二・〇億円を計上しています。

# 平成30年度内閣府沖縄担当部局予算(案)

(単位:百万円、%)

事 項	平成30年度 予算(案)	前年度 予算額	対前年度比	
			増△減額	比 率
1 公共事業関係費等	142,017	142,917	△899	99.4
(1) 公共事業関係費	134,021	133,494	527	100.4
(2) 沖縄教育振興事業費	7,996	9,423	△1,426	84.9
2 沖縄振興交付金事業推進費	118,780	135,837	△17,057	87.4
(1) 沖縄振興特別推進交付金	60,840	68,835	△7,995	88.4
(2) 沖縄振興公共投資交付金	57,940	67,001	△9,061	86.5
3 沖縄科学技術大学院大学学園運営経費	20,307	16,726	3,581	121.4
(1) 沖縄科学技術大学院大学学園運営費	15,638	15,536	102	100.7
(2) 沖縄科学技術大学院大学学園施設設備費	4,669	1,191	3,479	392.0
4 沖縄北部連携促進特別振興事業費	2,572	2,572	0	100.0
5 沖縄産業イノベーション創出事業費	1,366	1,055	310	129.4
(1) 沖縄国産物流拠点活用推進事業費	939	816	122	115.0
(2) 沖縄型産業中核人材育成事業費	367	180	188	204.3
(3) 沖縄力発見創造事業費	60	59	1	100.9
6 駐留用地跡地利用推進経費	1,255	1,255	0	100.0
7 沖縄子供の貧困緊急対策経費	1,202	1,102	100	109.1
8 沖縄離島活性化推進事業費	1,153	1,080	73	106.8
9 沖縄・地域安全パトロール事業費	868	868	0	100.0
10 沖縄健康医療拠点設備経費	305	0	305	(皆増)
11 交通環境イノベーション事業推進調査費	300	300	0	100.0
12 沖縄の人材育成事業	210	0	210	(皆増)
13 鉄軌道等導入課題詳細調査	100	150	△50	66.5
14 戦後処理経費	3,140	3,059	81	102.6
(1) 不発弾等対策経費	2,962	2,842	120	104.2
(2) 対馬丸遭難学童遺族給付経費	3	3	0	100.1
(3) 対馬丸平和祈念事業経費	21	21	0	100.1
(4) 位置境界明確化経費	9	9	0	100.0
(5) 沖縄戦関係資料閲覧室事業経費	13	23	△10	56.6
(6) 所有者不明土地問題の解決に向けた実態調査	132	161	△29	82.0
15 沖縄振興開発金融公庫経費	895	895	0	100.0
(1) 沖縄振興開発金融公庫補給金	595	895	△300	66.5
(2) 沖縄振興開発金融公庫出資金	300	0	300	(皆増)
16 沖縄製糖業体制強化対策事業	244	0	244	(皆増)
17 沖縄振興推進調査費	62	62	0	100.0
18 交通モード多様化事業推進調査費	50	0	50	(皆増)
19 沖縄酒類製造業の自立的経営促進事業	33	0	33	(皆増)
20 防犯灯・防犯カメラ等緊急整備事業	0	1,476	△1,476	(皆減)
21 その他の経費	6,174	5,646	528	109.4
合 計	301,034	315,001	△13,967	95.6

※四捨五入の関係で、合計等は必ずしも一致しない。

※平成30年度内閣府沖縄担当部局予算(案)については、以下の内閣府ホームページもご参照ください。

<http://www8.cao.go.jp/okinawa/3/33.html>

内閣府 沖縄担当部局の予算

